



学校だより

小和田小学校

令和8年度7月号

【学校経営方針】

一人ひとりを大切に、社会力を育み、みんなの笑顔がある学校

【学校教育目標(めざす子ども像)】

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

【学校経営目標(めざす学校像)】

「学ぶ喜びを感じる学校」 「保護者、地域から信頼される学校」
「教職員が成長し合える学校」 「心落ち着くきれいな学校」

「やっぱり運動会はいいな……」～第53回運動会を終えて～

校長 山崎 悟史

5月30日(土)に第53回運動会が無事開催されました。この日に向けて、子どもたちは練習をよくがんばっていました。私も練習風景をみましたが、楽しそうにダンスを踊っている姿や、真剣なまなざしで練習に向き合う姿など、いくつもの素敵な場面に出会うことができ、大変嬉しく思いました。「練習がんばっていましたね!」と声をかけると、「ありがとうございます!!」とよい表情で言葉を返してくれる子も多かったです。

先生たちも子どもたちが本番で輝くために、本当にがんばっていました。日々の指導内容の組み立て、練習では子どもたちを褒めて励ましながらの指導、そして放課後の振り返りと次の練習への準備……。その繰り返しの毎日でした。特に、本校は児童数が多いため、お昼に終了するためには演技・競技時間が限られます。そのなかで、「子どもたちが達成感・満足感を得るためにはどんな構成にすればよいのか」ということを先生たちはずっと考え続けていたように思います。先生方の運動会にかける思いもよく伝わってきました。

当日、開会式のあいさつでは、子どもたちに2つのことを伝えました。

1つ目は、「楽しんでほしい」ということです。それまでの練習の成果を発揮するのも大事ですが、一生懸命がんばってきたからこそ、何より楽しんでほしいと思いました。

もう1つは、「他の学年の種目をよくみてほしい」ということです。「よくみる」ことで、自分の種目以外の場面でも心が揺さぶられる経験ができ、演技・競技者と観客者が一つになれると思ったからです。

本番の子どもたちの演技・競技は素晴らしく、生き生きとした姿をみることができました。後半は疲れや暑さで参観するのが大変だったと思いますが、他の学年の種目もよくみてくれたと思います。「楽しむ」「よくみる」ことを大切にできた素晴らしい運動会だったと思います。

「やっぱり運動会はいいな……」心からそう思える一日でした。運動会でしか味わえない感情、運動会だからこそできる経験を、子どもたちも私たちも共有することができ、無事開催できて本当によかったです。

保護者のみなさまには、温かいご声援を送っていただき、さまざまな面でご協力くださり、心から感謝申し上げます。

学校運営協議会が開催されました

5月20日(水)に令和8年度第1回小和田小学校・赤羽根中学校学校運営協議会が開催されました。昨年度から本校でもコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が実施となりました。学校運営協議会制度とは、「学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる『地域とともにある学校』への転換を図るための有効な仕組み」です。当日は、学校経営計画の承認等が話し合われました。今年度も本協議会の会長・副会長・委員を務めていただくみなさまをご紹介します。

会長 三浦 一浩 様(小和田地区まちぢから協議会副会長)

副会長 中川 理恵 様(小和田小学校区推進協副会長)

委員 亀田 春彦 様(学識経験者・元茅ヶ崎市立中学校長) 川原 葉月 様(こわだ会校外委員長)

小林 玲子 様(こわだ会運営委員長) 堀江 恵 様(保護者と教師の会代表)

権藤 絵梨 様(松林地区民生委員児童委員)

間井校長・井出教頭・政野教諭(赤羽根中学校) 校長 山崎・井上教頭・山田剛輔総括教諭(小和田小学校)が委員となっており、事務局も兼ねております。